

## 新たな総合体育館の立地環境について

### 1 基本的な考え方

新たな総合体育館について、立地に必要な条件を整理するとともに、それらの条件に沿って現状を踏まえつつ分析を行った。

立地に必要な条件に関し、スポーツ利用については全国・県内の競技団体、多目的利用についてはイベントプロモーターに対し、それぞれヒアリングを行い、整理を行った。

その結果、スポーツ利用、多目的利用のいずれにおいても、利用者や主催者の利便性の観点などから、交通利便性、宿泊施設、飲食・物販など商業施設の集積が立地条件として必要との結論を得た。

### 2 現 状

1で示された立地条件のうち、交通利便性については、利用者がどのような交通手段を利用するかによって、評価の対象も異なることから、それぞれの利用形態ごとの交通手段の現状について把握した。

(1) スポーツ利用

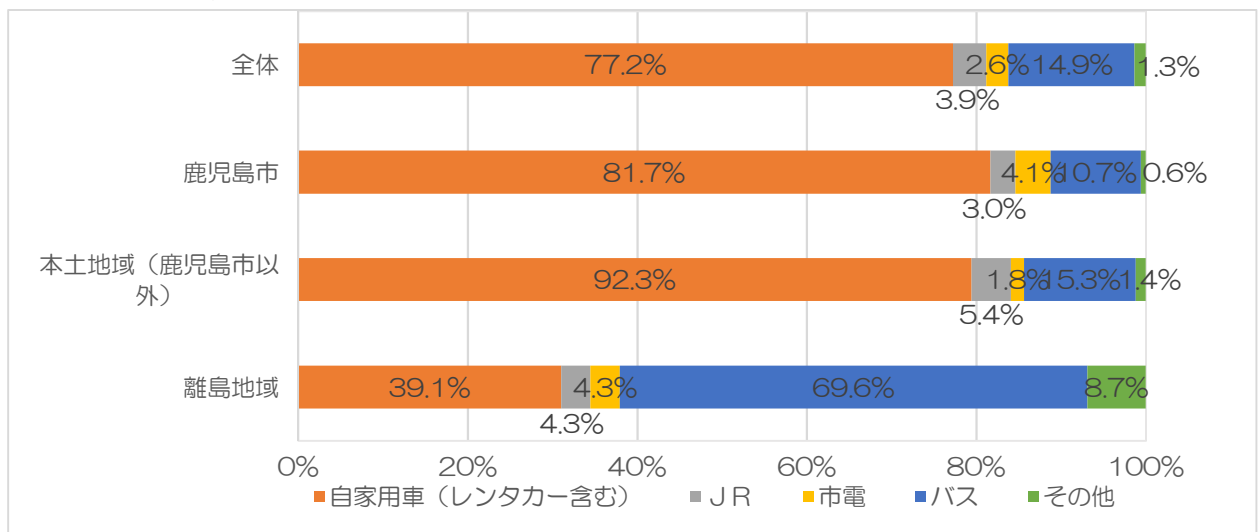
① 県大会

※ 県大会の主な参加者である中高生のスポーツ大会をもとに整理

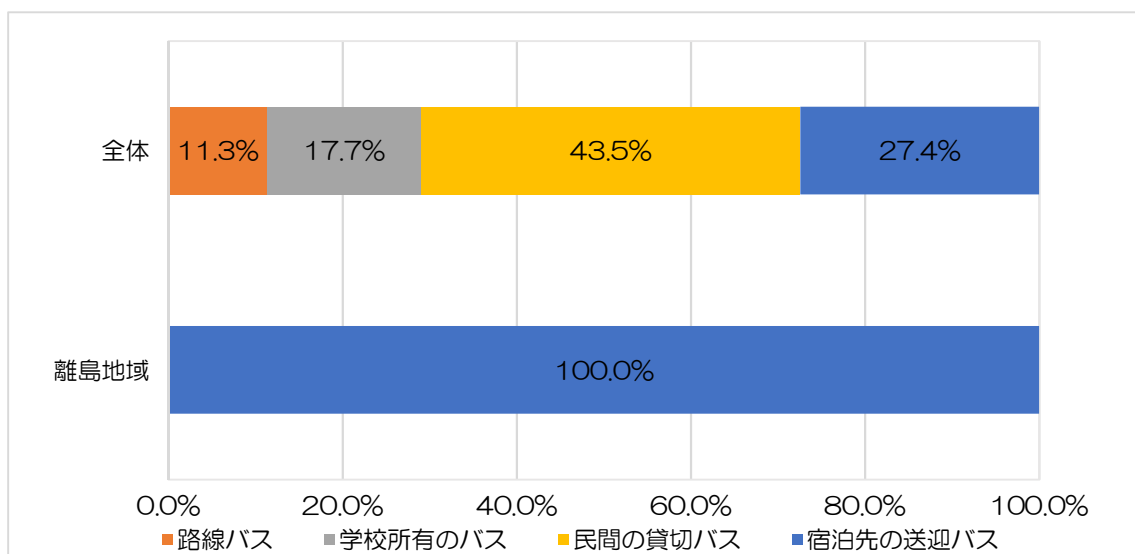
令和2年1月に実施した部活動指導者向けのアンケート調査結果によると、大会会場までの交通手段については、県本土地域のほとんどのケースが自家用車の利用であり、離島地域は港を経由し、多くが宿泊先の送迎バスを利用している。

《 アンケート調査結果（抜粋） 》

I 大会会場までの交通手段



II Iで「バス」と回答した方の内訳



## ② 全国大会

全国大会については、その大会によって参集範囲が異なると考えられるが、ここでは、2020年に本県で開催が予定されていた国民体育大会における県外参加者の来会意向調査をもとに整理を行った。

調査結果によると、鹿児島を来訪するための最終交通機関について、航空機利用が約50%、新幹線（又は鉄道、バス）が約36%となっている。

各都道府県体育（スポーツ）協会等を対象に実施した来会意向調査結果（令和元年度）

- 最終交通機関別集計
  - ・ 航空機：15,412人（50.2%）
  - ・ 新幹線（又は鉄道、バス）：11,097人（36.2%）
  - ・ 船舶：1,303人（4.2%）
  - ・ 持込車両：2,880人（9.4%）
  - ・ 計：30,692人

## (2) 多目的利用

### ① 県外

※ 需要予測調査において、多目的利用のうち利用日数及び利用者数のいずれも大半を占めるコンサートの状況をもとに整理

プロモーターに確認した結果、県外からの参加者は、九州地域が大半であることを確認した。

また、交通機関は高速バスや新幹線の利用が多いのではないかと意見があった。

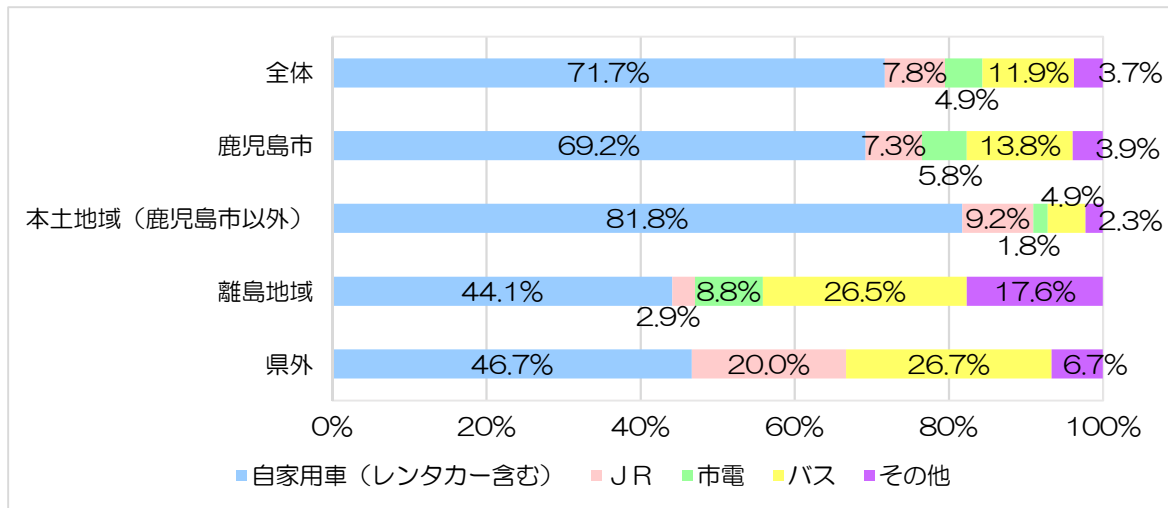
※コンサート等来場者の居住地について、プロモーターへ聞き取り

- 県内約7割，県外約3割
- 県外の内訳
  - 九州：約2割，関西・関東：数パーセント

② 県内

令和2年1月に実施した県民アンケート調査結果によると、スポーツイベント、スポーツ観戦、コンサート、イベント等の会場への交通手段については、約70%が自家用車、約25%が公共交通機関を使用している。

《 アンケート調査結果（抜粋） 》



### 3 分析

#### (1) 需要予測調査及び現状を踏まえた具体的な条件の検討

1で整理した立地条件について、昨年度実施した需要予測調査（利用割合等）及び2で整理した交通手段の現状を踏まえ、更に具体的な条件を設定した。

#### (具体的な条件設定)

	立地条件				根拠
	利用形態	利用割合	項目	具体的な条件	
スポーツ利用	県大会	約40%	交通利便性	県内：自動車，船によるアクセス	部活動指導者アンケート 県内競技団体調査
			宿泊施設	周辺に宿泊施設が多いこと	
			商業施設	周辺に商業施設が多いこと	
	全国大会	約4%	交通利便性	県外：航空機，新幹線によるアクセス	国体参加者調査 全国競技団体調査
			宿泊施設	周辺に宿泊施設が多いこと	
			商業施設	周辺に商業施設が多いこと	
県民利用	約30%	—	—	—	
多目的利用	コンサート・イベント	約20%	交通利便性	県外：高速バス，新幹線によるアクセス	プロモーター調査
				県内：自動車，JR，バスによるアクセス	県民アンケート
			宿泊施設	周辺に宿泊施設が多いこと	プロモーター調査
			商業施設	周辺に商業施設が多いこと	

新たな総合体育館は、現体育館の現状・課題等を踏まえ、「する」スポーツをベースとしたアスリートファーストの施設として検討を進めており、利用割合についても需要予測調査結果により、県大会の利用が最も多いと想定されることから、これら競技者にとっての立地環境を最も重視することとする。

#### 《 利用形態ごとに重視する条件 》

##### 県大会

県大会の主催者である県内競技団体にヒアリングした結果、本県の特色である離島を含む県内各地からの交通利便性を最も重視し、次に大会中宿泊が必要となる離島生徒への配慮の観点から宿泊施設、大会中の飲食・物販への対応の観点から商業施設の順であることを確認した。

## 全国大会

全国大会の主催者である全国競技団体にヒアリングした結果、全国各地からの集まりやすさの観点から交通利便性を最も重視し、次に大会期間中多数の来県が予想される大会参加者・主催者の利便性を確保する観点から宿泊施設、大会中の飲食・物販への対応の観点から商業施設の順であることを確認した。

## コンサート・イベント

コンサート・イベントの主催者であるプロモーターにヒアリングした結果、県内外からの集まりやすさの観点から交通利便性を最も重視し、次に観覧者・イベントスタッフ（長期滞在するスタッフも存在）への利便性の観点から宿泊施設、イベント時・イベント後の飲食・物販への対応の観点から商業施設の順であることを確認した。

## (2) 利用形態毎の立地条件について

### ① 県大会

#### ア) 交通利便性

2で示したように、本土地域の利用者のほとんどが自家用車利用であることから、県内のどの地域が自動車利用において最も優位であるか分析を行った。

具体的には、県本土地域 25 市町の市役所・町役場を起点に、県大会の主な参加者である中高生の競技人口を加味して、それぞれの時間距離を比較した。

その結果、鹿児島市が最も優位との結論を得た。

## 【 自動車によるアクセス比較 】

### ①調査方法

県本土地域の 25 市町を対象に，他の市町との自動車による移動時間の平均値を比較

比較に当たっては，市町毎に，県大会の主な参加者である中高生の競技人口を加味し，加重平均を算出

- ・ 起点：県本土地域 25 市役所・町役場
- ・ 移動時間の算出：Google 社が公表している Google Directions API を使用し，過去のビッグデータから，移動時間を推計※
- ・ 競技人口：屋内 17 競技の部活道加入者数（中学校・高校）

※全て同じ時刻を設定し比較。大会規模の大きい県中学校バレーボール大会の最終日の終了時刻（R3.5.24 16:00）を設定

※フェリー利用が有利な場合は，フェリー利用を優先

### ②調査結果

市町村名	移動時間 (平均値)	市町村名	移動時間 (平均値)
鹿児島市	0:34	志布志市	1:30
鹿屋市	1:33	南九州市	1:06
枕崎市	1:27	伊佐市	1:18
阿久根市	1:28	姶良市	0:42
出水市	1:39	さつま町	1:10
指宿市	1:27	長島町	2:01
垂水市	1:17	湧水町	1:00
薩摩川内市	1:03	大崎町	1:31
日置市	0:47	東串良町	1:34
曾於市	1:13	錦江町	1:51
霧島市	0:54	南大隅町	1:57
いちき串木野市	0:58	肝付町	1:36
南さつま市	1:09		

また、本県の特徴として、離島の中高生の大会参加が挙げられる。

離島の中高生（熊毛・奄美地域）は大会終了後、船舶を利用し帰島するが、屋内スポーツ競技団体等への聞き取りの結果、ほとんどの競技において、出港に間に合わないことを理由とした表彰式の途中退席や延泊などの実態がある。

このため、平等な競技環境を提供する観点からは、特に港からのアクセスを重視する必要があり、鹿児島港から近い距離に立地することが望ましい。

（参考）大会の運営状況及び船舶のダイヤ

○ 大会の終了予定時刻

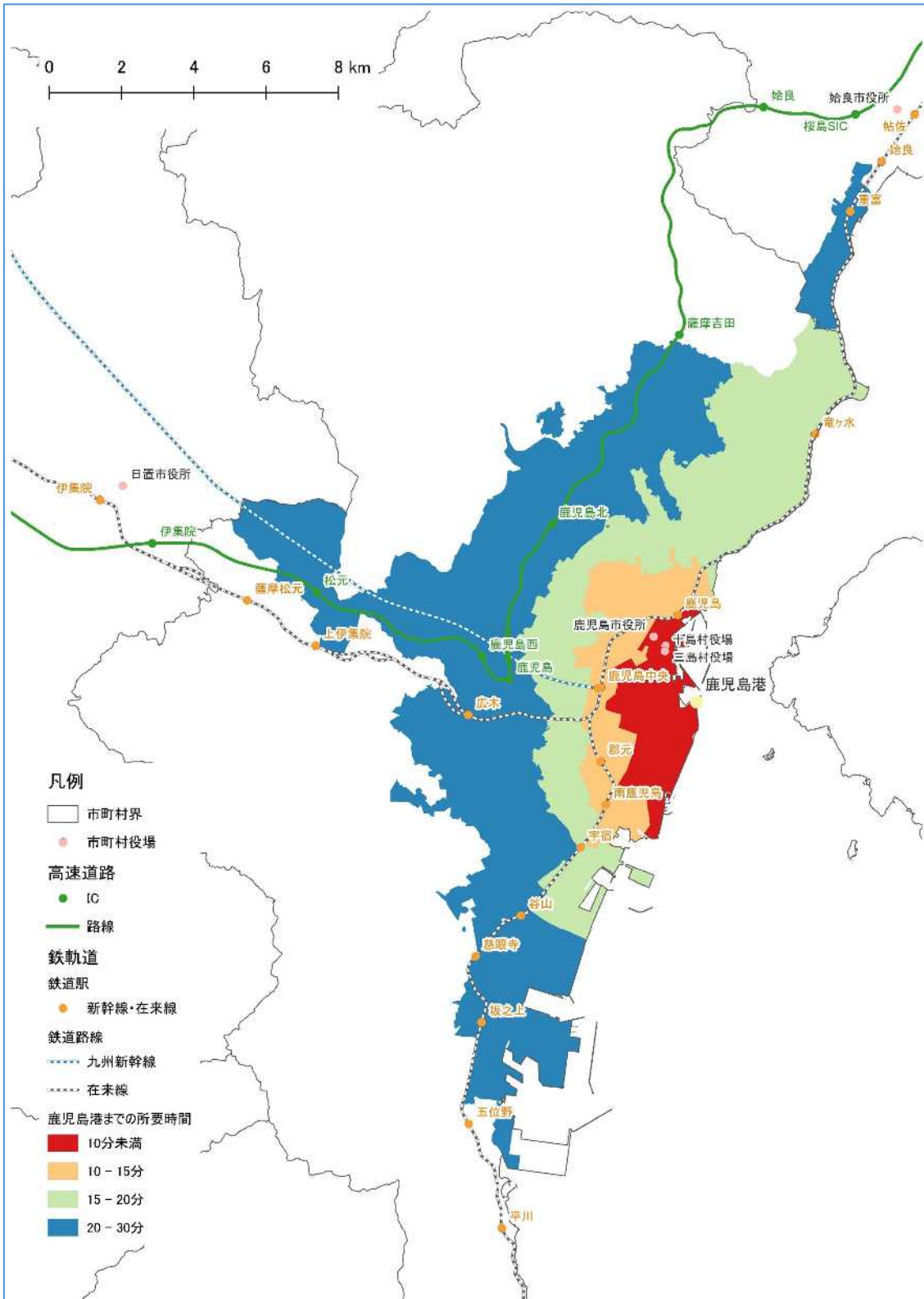
- ・ 一・二回戦：ほとんどの大会で午後４時から５時に終了
- ・ 最終日：ほとんどの大会で午後４時頃に終了

○ 船舶のダイヤ

- ・ 大島航路：鹿児島新港 １８：００発
- ・ 喜界航路：鹿児島港本港区（北ふ頭） １７：３０発
- ・ 種子屋久航路：鹿児島港本港区（南ふ頭）※トッピー  
１７：００発（種子島行き）  
１６：３０発（屋久島行き）



《 資料：鹿児島港までの所要時間 》 ※Google Directions API により算出

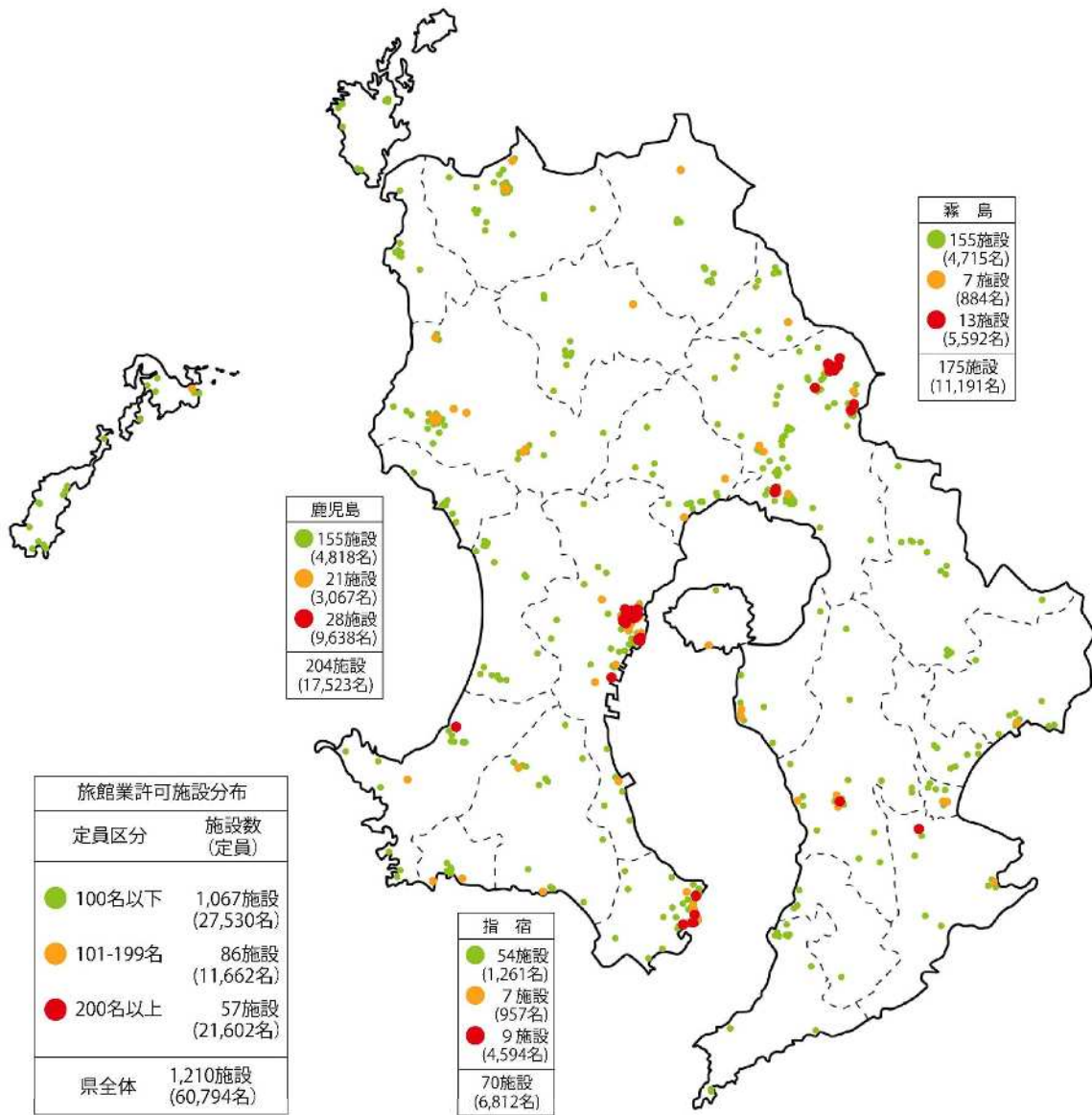


イ) 宿泊・商業施設の状況

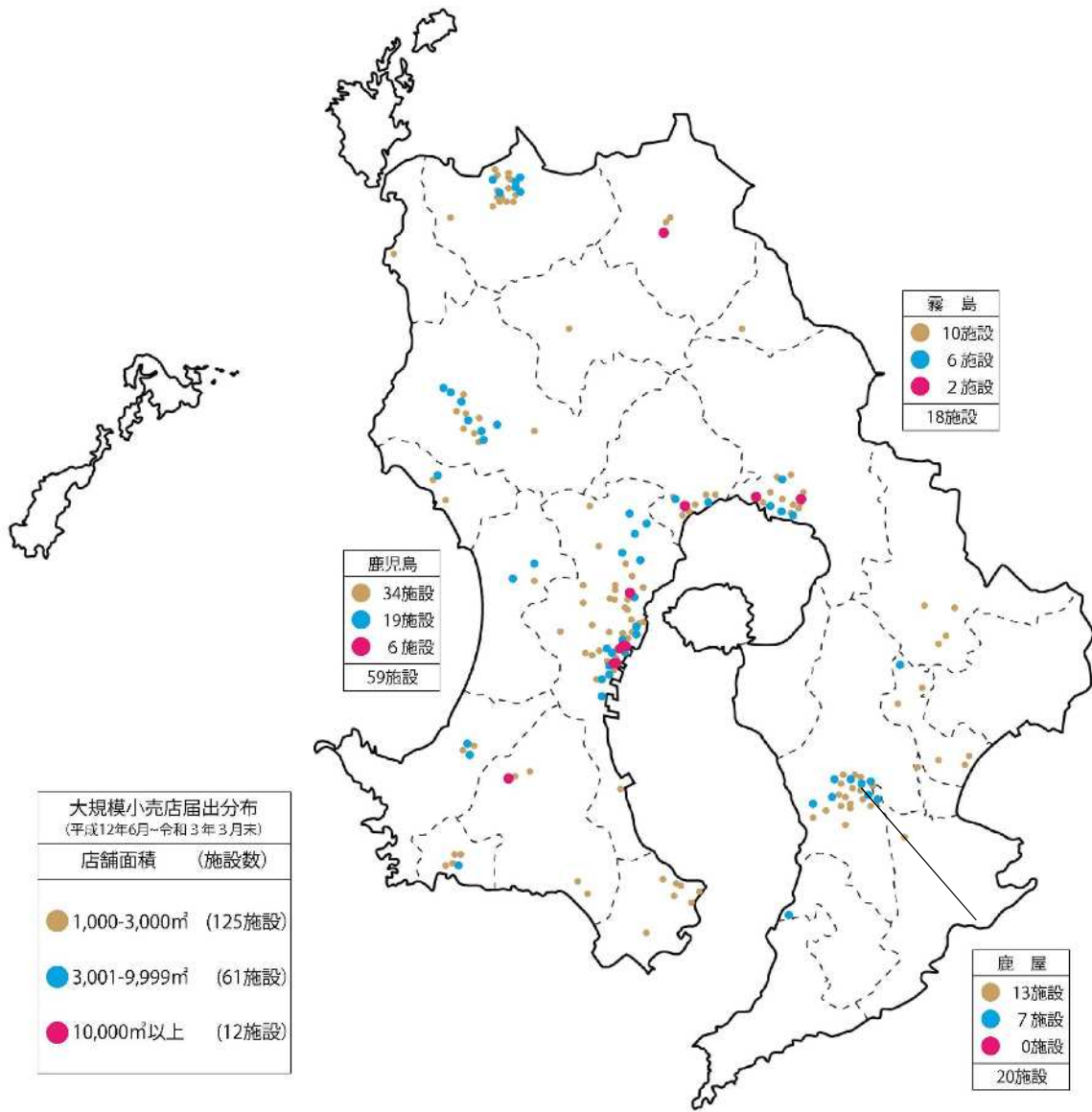
宿泊・商業施設については、いずれも鹿児島市に最も集積している。

《 資料：宿泊・商業施設の立地状況 》

宿泊施設の立地状況



## 商業施設の立地状況



## ② 全国大会

### ア) 交通利便性

全国大会については、その多くで航空機と新幹線による来県が想定されるが、立地条件としては、交通結節点である鹿児島空港と鹿児島中央駅に近い距離に立地することが望ましい。

### イ) 宿泊・商業施設の状況

県大会と同様

## ③ コンサート・イベント

### ア) 交通利便性

コンサート・イベントについては、県外の場合、その多くで新幹線と高速バスによる来県が想定されることから、立地条件としては、交通結節点である鹿児島中央駅に近い距離に立地することが望ましい。

また、県内の場合は、その多くで自家用車と電車・バス等の公共交通機関による来場が想定されることから、立地条件としては、自家用車の場合、自動車によるアクセス比較の結果、鹿児島市が最も優位となり、公共交通機関の場合、交通結節点である鹿児島中央駅に近い距離に立地することが望ましい。

### イ) 宿泊・商業施設の状況

県大会と同様

## 【 自動車によるアクセス比較 】

### ①調査方法

県本土地域の 25 市町を対象に，他の市町との自動車による移動時間の平均値を比較

比較に当たっては，市町毎に人口を加味し，加重平均を算出

- ・ 起点：県本土地域 25 市役所・町役場
- ・ 移動時間の算出：Google 社が公表している Google Directions API を使用し，過去のビッグデータから，移動時間を推計※

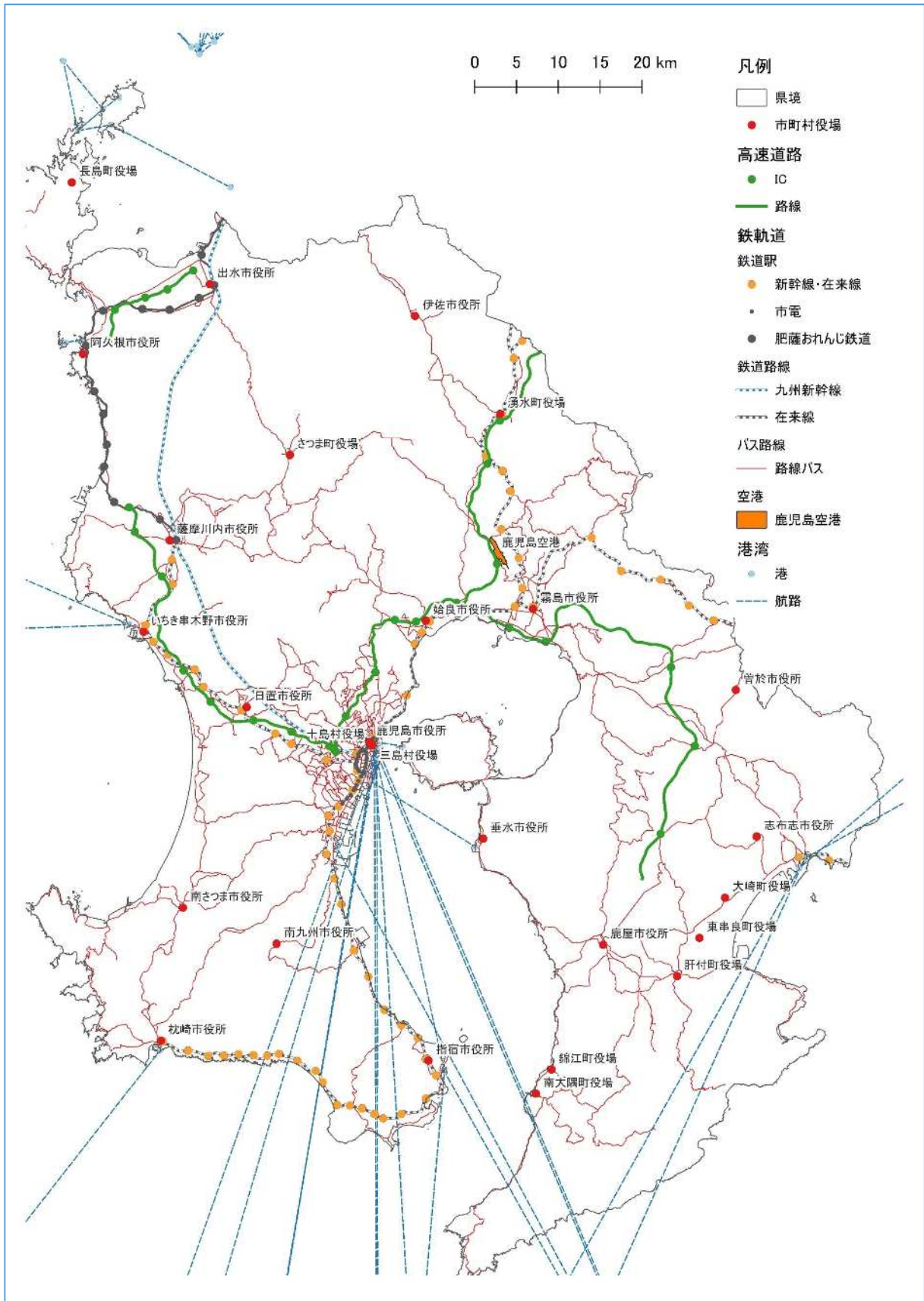
※全て同じ時刻を設定し比較。コンサートは土日の 16 時から 18 時の開場が多いことから日曜日の 16 時を設定

※フェリー利用が有利な場合は，フェリー利用を優先

### ②調査結果

市町村名	移動時間 (平均値)	市町村名	移動時間 (平均値)
鹿児島市	0:38	志布志市	1:30
鹿屋市	1:33	南九州市	1:08
枕崎市	1:29	伊佐市	1:18
阿久根市	1:28	姶良市	0:45
出水市	1:39	さつま町	1:11
指宿市	1:28	長島町	2:01
垂水市	1:18	湧水町	1:01
薩摩川内市	1:05	大崎町	1:31
日置市	0:50	東串良町	1:34
曾於市	1:14	錦江町	1:52
霧島市	0:55	南大隅町	1:57
いちき串木野市	1:00	肝付町	1:36
南さつま市	1:11		

《 資料：県内の公共交通網等 》 ※出典：国土交通省 GIS 国土数値情報



## 《 分析結果のまとめ 》

- スポーツ利用：県大会（利用割合：約40%）の場合
  - ・ 交通利便性（本土地域：自家用車利用）
    - ⇒ 鹿児島市が最も優位
  - ・ 交通利便性（熊毛・奄美地域：船舶（鹿児島港利用））
    - ⇒ 鹿児島港から近い距離が望ましい
  - ・ 宿泊・商業施設
    - ⇒ 鹿児島市に最も集積
  
- スポーツ利用：全国大会（利用割合：約4%）の場合
  - ・ 交通利便性（航空機・新幹線利用）
    - ⇒ 鹿児島空港・鹿児島中央駅から近い距離が望ましい
  - ・ 宿泊・商業施設
    - ⇒ 鹿児島市に最も集積
  
- 多目的利用：コンサート・イベント等（利用割合：約20%）の場合
  - ・ 交通利便性（県外：新幹線・高速バス）
    - ⇒ 鹿児島中央駅から近い距離にあることが望ましい
  - ・ 交通利便性（県内：自家用車利用）
    - ⇒ 鹿児島市が最も優位
  - ・ 交通利便性（県内：電車・バス等）
    - ⇒ 鹿児島中央駅から近い距離にあることが望ましい
  - ・ 宿泊・商業施設
    - ⇒ 鹿児島市に最も集積

※この資料は、基本構想策定支援事業の委託先である「(株)梓設計 九州支社」において、新総合体育館の立地条件について、競技団体・イベントプロモーターへのヒアリングを行った上で整理するとともに、立地条件とされた交通利便性や宿泊施設の集積度などの県内の状況について各種データの分析を行い、その結果を取りまとめたもの。